

## 動物用塩プロ注「KS」

## 【成分及び分量】

本品 100 mL中

有効成分	含量
プロカイン塩酸塩	2 g

## 【効能又は効果】

局所麻酔（浸潤麻酔、伝達麻酔、硬膜外麻酔）

## 【用法及び用量】

局所麻酔として適量を注射する。

## 【使用上の注意】

## （基本的事項）

## 1. 守らなければならないこと

## （一般的注意）

- 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。

## （取扱い及び廃棄のための注意）

- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び凍結を避けること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

## （使用者に対する注意）

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

## （対象動物に関する注意）

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

## （専門的事項）

## 副作用

- 本剤の投与により、ショック様症状等の過敏症反応を起こすことがあるので、観察を十分に行い、過敏症反応が現れた場合には使用を中止し、適切な処置をとること。
- 本剤の注射により、ねむけ、不安、興奮、悪心、嘔吐、痙攣等の症状が現れることがある。
- 馬にプロカインによる中枢神経系の副作用が起きる場合があるとの報告がある。

## 【薬理学的情報等】

## （薬効薬理）

- プロカイン塩酸塩は、非解離型の中性分子として神経細胞膜を通過した後、細胞内で解離してイオン型となり、神経細胞の内側から細胞膜のNa<sup>+</sup>チャンネルに結合して知覚神経の求心性伝導を抑制する。

## 【包装】

100 mL × 5バイアル

## 【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北一丁目11番5号  
TEL 03-3264-7559

製造販売業者

 共立製薬株式会社  
東京都千代田区九段南 1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。